



千代田町子ども議会 会議録



令和元年11月6日開催

千代田町議会・千代田町・千代田町教育委員会

目 次

1. 千代田町子ども議会の概要	3
2. 議事日程	4
3. 出席議員	5
4. 一般質問	6
➤ 議席番号 1番 3年1組 阿部竜弥 議員	6
➤ 議席番号 2番 3年1組 小島大輝 議員	6
➤ 議席番号 3番 3年1組 坂本 魁 議員	7
➤ 議席番号 4番 3年1組 根岸愛花 議員	8
➤ 議席番号 5番 3年2組 海保翔大 議員	9
➤ 議席番号 6番 3年2組 川島優奈 議員	10
➤ 議席番号 7番 3年2組 寺島 涼 議員	10
➤ 議席番号 8番 3年3組 川邊 凜 議員	11
➤ 議席番号 9番 3年3組 竹内真帆 議員	12
➤ 議席番号10番 3年3組 田沼尚歩 議員	13
➤ 議席番号11番 3年3組 松山力生 議員	14
➤ 議席番号12番 3年2組 江原綾菜 議員	15
5. 子ども議員の感想 ～子ども議会を終えて～	17
6. 参考資料(出席者)	18

1. 千代田町子ども議会の概要

昨年に引き続き、開かれた議会を目指し、また生きた社会科の勉強として、子どもたちの町づくりの考えを行政推進の一助とすることを目的に実施しました。

●千代田町子ども議会(令和元年11月6日〈水〉)

議長に江原綾菜議員が、副議長に小島大輝議員が任命されました。

3年2組 江原綾菜議長



3年1組 小島大輝副議長



千代田中学校3年生の中から選ばれた12名の子ども議員がそれぞれ一般質問を行い、質問に対し、町長や教育長が答弁を行いました。



2. 議事日程

(令和元年 11月 6 日〈水〉14 時30 分開会)

●開会前

子ども議員紹介

出席者紹介

町長あいさつ

千代田町長 高橋 純一(たかはし じゅんいち)

議長あいさつ

千代田町議会議長 高橋 祐二(たかはし ゆうじ)

●子ども議会

(1)開会 子ども議会議長 江原 綾菜(えはら あやな)

(2)一般質問(1番議員～6番議員)

(3)一般質問(7番議員～12番議員)

(4)子ども議長あいさつ 子ども議会議長 江原 綾菜(えはら あやな)

(5)閉会 子ども議会副議長 小島 大輝(こじま だいき)

●閉会后

副議長講評

千代田町議会副議長 川田 延明(かわた のぶあき)

記念品贈呈

写真撮影



3. 出席議員

議席番号	クラス	氏名	質問内容
1	1組	阿部 竜弥	・都市公園及び社会体育施設の使用料改定
2	1組	小島 大輝	・避難所の設備について
3	1組	坂本 魁	・財政について
4	1組	根岸 愛花	・今後の千代田町について
5	2組	海保 翔大	・千代田町の公共機関のバリアフリー化について ・Free Wi-Fiについて
6	2組	川島 優奈	・漢検 & 数検について
7	2組	寺島 涼	・お米(ゴロピカリ)のPRについて ・米作りの未来について
8	3組	川邊 凜	・飲食店が少ないことについて
9	3組	竹内 真帆	・千代田町からの交通手段について
10	3組	田沼 尚歩	・新橋の建設と水難事故について
11	3組	松山 力生	・ハザードマップの看板について
12	2組	江原 綾菜	・人口減少について ・道路整備について



4. 一般質問

➤議席番号 1番 3年1組 阿部竜弥 議員

都市公園及び社会体育施設の使用料改定

授業中に平成30年4月1日に社会体育施設の使用料改定を知りました。テニスコートを例にとってみるとコートの使用料が1面1時間200円です。大体の人が1日4時間を一週間続けると5,600円です。この価格は中学生にとってだいぶ大変な金額です。ほかにも無料だったものが7,000円になるなど、大人には負担できると思いますが、中学生の場合、負担出来兼ねます。それなので、無料だった時と有料の時の利用者数に変化はあったのか教えてください。また、なぜ使用料の改定をしたのですか。

答弁

【町長】

はじめに使用料の改定について、お話をいたします。

子ども議員の中学生の皆さんは、テーマパークや遊園地に行ったことがあるかと思います。遊園地では、入場の際や乗り物に乗るときに、チケットを買ってお金を支払います。なぜでしょうか？それは、遊園地に携わる人の給料、乗り物の運転に必要な電気代や水道代、安全に乗り物を動かすための点検料といった費用、つまりお金がかかるからです。必要なお金は、遊園地を利用する人から料金として集められています。このお金を、遊園地を全く利用しない人から集めることができると思いますか？おそらくできないと思います。なぜなら、サービスの提供を受ける人が、それに見合った負担をすべきといった考えがあるからです。公共施設の利用でも、基本的な考えは同じです。質問にあったテニスコートの例ですが、テニスコートに穴が開けば、埋めて平らに整備しますし、ネットが破れて修理ができなければ新しいネットを買います。つまりお金がかかります。では、なぜ皆さんは無料で使用できるのでしょうか。それは、皆さんのお父さんやお母さんをはじめ、千代田町の住民や企業が、税を納めているからです。その税から、テニスコートに必要なお金を賄っているからなのです。ここで考えてほしいのですが、無料ということは、テニスコートを利用する人からは全く負担を取りません。一方で、テニスコートを利用しない人へは、税という形で費用の負担をお願いすることになります。少しおかしいと思いませんか？

本来、負担すべき人から相応の負担をいただく、それこそが使用料を改定した理由です。もちろん、中学生の皆さんが部活動などの学校行事を行うために、町の施設を利用するのであれば、大いに利用していただきたいので、今までどおり無料で使用できますので、ご心配はいりません。また、個人的に利用する場合は、2名以上で構成されるグループで、千代田町に住んでいる方や働いている方が半数以上いれば、減免の対象となります。町外に引っ越してしまうと、減免とならず使用料を払う必要がありますので、皆さんには引き続き千代田町に住んでほしいと思います。

次に、施設の利用者数ですが、大きな減少は見られません。使用料を改定したほとんどの施設で前年度と同程度か増加をしていて、一部の施設での減少もわずかとなっております。一方の利用料(都市公園と社会体育施設)は、前年と比較して、約60万円強の増となりましたので、利用者の方々にはご理解をいただけたものと考えております。

最後にお願ひがあります。皆さんが大人になったときに、たくさん税を納めてもらえれば、皆さんの子どもたちも無料で施設を使えるようになります。そのためにこれからも、たくさん勉強や運動をして、将来を担う立派な大人になってください。

➤議席番号 2番 3年1組 小島大輝 議員

避難所の設備について

災害時、避難所として使われる施設についてですが、東側には総合体育館、西側には町民体育館と東西に体育館が一つずつあります。もし、夏場の暑い時期や冬場の寒い時期に災害が起こった場合、冷暖房が必要

になると思います。東側の総合体育館には冷暖房がありますが、西側の町民体育館にはありません。もし、冷暖房をつけるとなったら後付けのため、設置費が高くなることは知っています。ですが、町民のためにも西側に設置していただけないでしょうか。

答弁

【教育長】

先月 12 日から 13 日にかけて、台風 19 号が日本列島を直撃し、各地で河川の決壊や氾濫が相次ぎ、全国的に大きな被害をもたらしました。本町においても、気象庁より大雨特別警報が発令され、町内 7 か所の避難所に約 1,800 人の方が避難いたしました。利根川においても、例外なく氾濫の危険性がありますので、ためらわずに避難することが重要であると思います。

ご質問の避難所の冷暖房設備についてですが、良好な避難所環境の確保は重要な課題であると認識しております。しかし、全ての施設に冷暖房設備を整備することは難しく、災害発生時に必要な場所に必要な機材を投入することが、現実的な対応として、近年推進されております。そのため、町民体育館など冷暖房設備がない施設を長期間避難所として使用しなければならなくなった場合、人命にかかわる時には、移動式の空調機器をリースで設置したいと考えております。

なお、避難の際には、西地区の方が東地区の総合体育館にも避難できますので、早め早めの行動をお願いいたします。災害警報が発令されたときは、町も最大限の努力をします。皆さんも「自分の命は自分で守る。」行動をとれるよう、日頃から意識しておいて下さい。

➤ 議席番号 3 番 3 年 1 組 坂本 魁 議員

財政について

千代田町という人口約 1 万人の小さな町で、財政運営を安定させるためにどのような取り組みを行っているのかについて、疑問を持ちました。その件について詳しく伺います。また、歳入総額 45 億 3,500 万円のうち、税金、地方交付税、交付金、国庫支出金、地方債はそれぞれ何パーセントくらいを占めているのか、町長さんにお伺いします。次に、2 つ目の質問は社会科の授業で学習したのですが、地方債はどこから借用しているのですか。またどのように返済しているのでしょうか。

答弁

【町長】

規模が小さい町で、安定した財政運営により、お年寄りや小さな子供たちに福祉のサービスを提供したり、道路や学校を修理したりするときには、何が一番必要でしょうか？

答えは、「お金です。」そのため、お金を安定して確保することが、町の財政運営に何より必要なことだと言えます。

4 月から、次の年の 3 月までの 1 年間に、町が確保できるお金の見込み額を歳入予算といい、その使い道を決めたものを歳出予算といいます。当然ですが、歳出予算は歳入予算の範囲で定めることになります。つまり、歳入を増やすことができれば、より安定した町の財政運営が行えることになります。

歳入は、町税をはじめとする町独自で集められるお金である自主財源と、国や県などから交付されるお金である依存財源の 2 種類に分けられます。依存財源は、使い道を指定されることが一般的で、自由に使うことができないため、自主財源、特に町税の確保が重要となります。

いま町では、明和町との境に新しい工業団地を造っていて、これから本格的な工事に入ります。この工業団地が売れば、進出した企業から町に税金が納められます。また、ジョイフル本田の道を挟んで西側では、大きなお店が建てられる土地を販売していて、こちらも土地が売れば町税の増加が期待できます。また、ネーミングライツ、東部住宅団地のふれあいタウンの販売やふるさと納税、寄付金なども含まれます。ネーミングライツについては皆さんが活用している町民プラザ、東部運動公園サッカー場、総合体育館・温水プールなどにネーミングライツとして企業の名前を入れ、企業から使用料を町に払っていただくことになります。そうすることによって企業の P

Rにもつながっていきます。今年度からネーミングライツも行っています。このように、町の活性化と税収を増やすための取り組みを積極的に実施しています。

そして、歳入の割合ですが、令和元年度の当初予算では、町税が 47.6%、地方交付税が 11.0%、国庫支出金が 7.6%、地方債が 5.2%となっています。また、自主財源の割合は 63.0%、依存財源の割合は 37.0%です。先ほどお話ししたとおり、今後は町税をはじめとする自主財源を増やし、千代田町の未来を見据えた、安定した財政の基盤を作っていきたいと考えています。去る、8 月 29 日の上毛新聞に掲載されましたが、千代田町で生み出される工場出荷額は、住民 1 人当たりで計算すると、群馬県でトップです。この小さな千代田町には、大きな可能性があると思います。町の将来に期待していただき。先ほどの挨拶でも述べたように25歳を過ぎると坂本議員も選挙に出ることができるので、議員や町長に立候補してもっと町の活性化に頑張ってもらいたいと思っています。

二つ目の質問の地方債の借入先ですが、大まかに 2 つに分けられます。国や国の関連団体から借り入れる場合と、銀行などの金融機関から借り入れる場合です。どちらから借り入れるかは、国が作った計画にそって、群馬県が割り振りを行っています。

国から借り入れを行う場合は、借入利率が低く抑えられているため、将来の負担を少なくすることができます。また、金融機関から借り入れる場合には、利率は割高になりますが、町の資金を民間に還元することで、地域経済の活性化が期待できます。なお、町では、金融機関から借り入れる場合でも、利率を低く抑えるため、多くの金融機関から条件を提案してもらい、一番低い利率で借り入れられるようにしています。

地方債は、借入を行うときに、返済の年数や利率、その他の条件を決定していますが、一般的には半年に一度、元金と利息の支払いがあり、振り込みで返済をしています。地方交付税では、交付額の計算に必要な費用として、地方債の返済額を含める制度があり、千代田町ではこの制度にあてはまる地方債を上手に使って、返済の負担が大きくなるようにしています。また、地方債の残高が大きくなるように借入額の調整をしていて、将来に負担の少ない地方債の活用を実施しています。

地方債は、町の借金であるため、あまりよくないイメージもあるかもしれませんが、もし、道路・公園・学校などの公共施設の整備を、地方債を使わず整備すると、現世代の方の税金で負担することとなり、税金等で負担した世代と、将来、便益を受けることとなる後世代の方との間で、不公平が生じてしまいます。地方債の借入により、元利償還金という形で、後世代の方にも負担していただくことで、世代間の負担の公平を調整するという役割も果たしていることから、これからも計画的に地方債を活用していきたいと考えています。

➤議席番号 4番 3年1組 根岸愛花 議員

今後の千代田町について

まず1つ目は、夕方、田んぼ道を帰っていると少し道が暗く前が見えにくいので事故にあってしまう恐れがあると考えました。もし街灯 1 本を新しく設置するとどのくらい費用がかかるのでしょうか。また、現時点では新たな街灯を何本作ることができるのですか。2つ目はジョイフル本田の手前の道は私たちが小学生のころから作り始めましたが、未だに開通をしていません。あの道はどういう意図で作られたのですか。また、今後開通する予定はあるのでしょうか。

答弁

【町長】

街灯を新設すると 1 本あたり、どのくらいの費用がかかるかについて、千代田町では、防犯灯と呼んでおり、防犯灯の設置場所にもよりますが、電柱につけて、直接電気を供給できる場合、税込みで 16,500 円程度の費用がかかっています。付近に電柱がない場合は、専用のポールを立てて、近くの電柱から電線を引いて来て、防犯灯をつけるのですが、その場合は、60,000 円程度の費用がかかります。現時点で、新たな防犯灯が何本作ることができるかという、今年度の配分してある予算が 90 万円ですので、防犯灯を全て電柱に取り付けて設置する場合は、54 本程度です。全てポールを立てて設置する場合は、15 本程度になります。また、町内の方から、防

犯灯の設置に役立ててほしいと、寄付をいただいて設置したケースもあります。

二つ目の質問の道路は、ジョイフル本田千代田店の西側、商業用地内を通っている南北の道路のことだと思います。根岸議員のおっしゃるとおり、現在は、車止めを設置して封鎖している状況でありますので、通ることはできません。この道路は、町道 3-436 号線と言って、平成 27 年度に完成した、商業用地の造成工事に合わせて、商業用地に出店する商業施設、つまりお店のことですが、そのお店に来るお客様の利便性を考えて整備した道路です。町では、この商業用地にお店を出してくれる企業を誘致するため、様々な活動を行っておりますが、今のところ、具体的なお店は決定しておりません。そのため、道路の開通を見合わせている状況にあります。また、この道路を開通させてしまうと、人目に付きにくい場所ですので、ゴミの不法投棄をされてしまう可能性があります。さらに、防犯上の観点からも心配な点がありますので、封鎖をしています。

今後、商業施設への出店が決定し、お店が開店するタイミングに合わせて、お店への来客者が便利に通行できるよう、開通する予定です。

➤議席番号 5番 3年2組 海保翔大 議員

①千代田町の公共機関のバリアフリー化について

総合体育館の階段昇降機では2回に上がる際、時間がかかりすぎてしまい、階段を利用する人の邪魔になり、ケガをする恐れもあります。学校の授業参観などの時に車いすの人を何人かで持ち上げて運ぶため、ケガの恐れもあり、安全に移動することができません。学校や総合体育館は非常時の避難所にもなるため、高齢者や車いすの人が健常者とはほぼ同じペースで混雑しないようにするため、体育館や学校などの公共施設にエレベーターを設置することが必須だと思います。

②Free Wi-Fiについて

昨年にもFree Wi-Fiについての質問があり、設置されたようですが、そのWi-Fiの速度が遅く、重くなってしまうという意見が出ました。Wi-Fiの速度を速くし、Wi-Fiの設置場所を拡大し、接続しやすくなるともっと使いやすくなると思います。

答弁

【教育長】

本町の公共機関のバリアフリー化については、各施設へのスロープの設置や、手すり・トイレの整備等を実施しておりますが、まだ完全ではありません。ご質問の公共機関へのエレベーター設置についても、バリアフリー化を推進する上で、たいへん重要であると認識しております。現在、エレベーターが設置してある公共施設は、役場庁舎、コスメ・ニスト千代田町プラザ、西こども園、総合福祉センターであり、未設置は各学校施設やKAKINUMAアリーナ・町民体育館となります。ただし、KAKINUMAアリーナについては、ご質問の中にもありました通り、階段昇降機を設置しておりますが、時間がかかりすぎるのが欠点となります。

現状、未設置の既存施設にエレベーターを設置するとすると、建物の構造上の観点からも多額の費用が見込まれます。限られた町の予算の中で、どう優先順位をつけていくかですが、学校等の建て替えや、既存施設の大規模改修の際には、エレベーターの設置を検討する必要があると考えております。

【町長】

現在の公共施設へのFree Wi-Fiの設置状況ですが、平成 28 年 8 月より役場にて利用が可能となっております。昨年も同様の質問がありましたが、千代田町ではケーブルテレビの地域BWAという、「広帯域無線アクセス」を利用した、避難所などへの Wi-Fi 環境の整備を中心に検討しています。昨年度、役場屋上に設置したアンテナより、電波を発信し、半径 2 km 以内の施設に Wi-Fi スポットを設置することにより、Wi-Fi 環境の整備が可能となります。

今年度は、ケーブルテレビより貸し出されている、持ち運び・移動可能な Wi-Fi スポットを設置して、電波状況や必要性等を確認・検討しているところです。来年度以降に、Wi-Fi 環境の整備に取り組んでいければと考えており

ます。なお、町としては、コスメ・ニスト千代田町プラザ、KAKINUMA アリーナ、小学校、中学校など避難所を中心として、利用者に使いやすい場所にも、Wi-Fi 環境の整備を行っていきたいと考えております。

再質問

海 保 議 員：教育長の答弁でエレベーターの設置が重要なこととありましたが、いつ頃設置されるというような具体的な案は出ていますか。

岡田教育長：エレベーターの設置には多額の費用がかかります。既存の施設にエレベーターを新たに設置することは大変お金がかかり、技術的にも非効率なところがあります。施設の建て替えや施設を新設するときにエレベーターを設置するというのが基本的な考え方です。エレベーターが設置されていないところに何年までに設置するのかということについては今後考えていければと思っています。財政の許す範囲で利便性を考えいくことが必要と考えています。何年後にという約束は今のところ難しい状況です。

➤議席番号 6番 3年2組 川島優奈 議員

漢検 & 数検について

今現在、英検は無料で受けられていますが、漢検と数検は受験料がかかっています。そこで、漢検・数検を無料にしてほしいという意見が出たため、漢検と数検を無料で受験できるようになったら受験するかクラスメートにアンケートをとりました。そしたら3分の2以上の方が手を挙げました。それなので、無料にする意味はあると思います。もし、無料にするとしたら財源は確保できるのでしょうか。また、漢検・数検の無料化についてどうお考えですか。

答弁

【教育長】

本町では、皆さんがグローバル化に対応できるよう英語に力を入れ、東・西小学校における英語の教育課程特例校指定やALT(外国語指導助手)の活用により、幼児から中学生まで切れ目のない英語教育に取り組んでいます。英語検定料の無料化も、その事業の一環として実施しているものです。この取り組みの結果、中学生の英語の学力も向上しており、着実に成果として表れてきていると考えています。

漢検と数検の検定料の無料化ですが、全国的にみますと、実施している自治体の数は現状においてはまだ少ないように思われます。検定料の無料化を拡大する場合、その検定料を町が負担することになりますので、新たに財源を確保する必要があります。

一方で、英検無料化の取り組みで見られたとおり、検定料を無料化することによって、金銭的な負担軽減だけでなく、児童や生徒の学習意欲や学力の向上といった効果があるのも事実です。

町としましても、財源に限りがありますので、事業の費用対効果などを検証しまして、今後検討してまいりたいと考えております。

➤議席番号 7番 3年2組 寺島 涼 議員

①お米(ゴロピカリ)PRについて

千代田町には、田んぼがたくさん有る一方で、千代田の銘柄米はあまり知られていません。そこで千代田町の銘柄米を使ったものを提供するなどのイベントを開催することや町のイベントでおにぎりを配布するなど町民や町外の人に食べてもらうことで認知度を高めることができると思います。お米のPRについての考えをお聞かせください。

②米作りの未来について

今現在千代田町にはたくさんの田んぼがあります。日本人の米離れが指摘されていますが、実際に田んぼの面積はどうなっているのでしょうか。また、今後の米作りについてどのように考えていますか。

答弁

【町長】

ご承知のように千代田町には、田んぼがたくさんあります。その大半は、米と麦の二毛作により、おいしいお米と麦が収穫されております。しかし、残念ながら千代田町のお米の知名度は低く、あまり知られておりません。寺島議員から「ゴロピカリ」という、銘柄名があげられていますが、米の銘柄も年々進化しています。お米の成長が天気に左右されにくく、育てやすく、収穫量の多い、食べておいしい品種が好まれますので、現在、千代田町では、「あさひの夢」、「夢まつり」という銘柄米が作付けされております。今後もさらに美味しいお米を作るために研究が続けられていくと思われれます。

こういった品種改良されて、おいしくなったお米を皆さんに知ってもらうため、本町では、町の色々なイベントにおいて、お米のPRをしております。例えば、今月 23 日の「千代田町産業祭」では、スタンプラリー抽選会・ガラポン抽選会で、千代田町産のお米が賞品として提供されたり、「農業委員会」の皆さんにより、お米のつかみ取りも予定されております。また、来年 1 月 19 日の「おもてなしマラソン」では、参加選手へおにぎりの提供。さらに 4 月 5 日の「さくら祭り」では、「ちよの会」による、焼きおにぎりの販売が予定されております。今後も、本町はもとより、千代田町を含めた東毛地域において、農業の専門機関であるJA 邑楽館林を中心に一致団結し、町内外に向けた活動を推進していきたいと考えています。参考ですが、皆さんも行ったことがあると思いますが、ココ壺番屋というカレー専門店で使われているお米は館林・邑楽の地域で収穫されたお米が100% 近く使われています。ぜひココ壺番屋に行って、美味しいお米を食べていただければと思います。

二問目の「田んぼ」の面積については、全国的に年々減少してきており、農業を行う人がだんだん減少してきております。千代田町においても減少傾向となっております。千代田町における、過去 5 年間のデータを見た場合、平成 26 年度 760ha、平成 27 年度 756ha、平成 28 年度 755ha、平成 29 年度 754ha、平成 30 年度 753ha というように、年々少しずつですが、減少しております。

また、普段、何気なく食卓にのぼる日本人の主食であるお米ですが、農家の方にお米を作っていたかかないと、私たちはお米を食べることができません。しかし、近年では、農業従事者の高齢化や後継者不足など、担い手としての農業従事者が年々減少していく状況にあります。今後は、いかに効率的に農業を営んでいくのかが、非常に重要な課題となっています。そのため、農地の集積・集約といった、効率性の向上、性能の良い農業機械の導入などが考えられます。さらに、本格的な導入には時間がかかりますが、スマート農業といった、新たな技術にも大いに期待ができると思います。本町では、意欲のある農業者に対し、群馬県やJAといった関係機関と連携をとりながら、技術的な支援や農業機械の購入の補助金でも支援していきたいと考えております。

➤議席番号 8番 3年3組 川邊 凜 議員

飲食店が少ないことについて

まず1つ目は、千代田町の飲食店について昨年も同じ質問が出たそうですが、その後店舗数はどう変わりましたか。次に、2つ目の質問は今後、千代田町の飲食店を増やそうと計画しているのでしょうか。私たちには飲食店が少ないように感じます。外食する際は町外に行くことが多いです。さらに千代田町の飲食店は営業時間が短く、若者が入る店が少ないように感じられます。飲食店の増加が厳しいとすれば、地域の野菜などを使った週に1回の売店を出すことで食べ物を提供できるようになると思います。これについては実現可能でしょうか。

答弁

【町長】

昨年度の子ども議会においても質問いただき、「町内の飲食店関係は、ジョイフル本田千代田店2階のフードコート内も含めまして、約35店舗あります。」と答弁いたしました。現在、町内にある飲食店関係は、ジョイフル本田千代田店2階のフードコート内も含めて、「約37店舗」で、昨年度と比べて、「2店舗」増えております。参考ですが、5店舗増えて、3店舗廃業しました。昨年と比べて店舗数が増えたことは良いことですが、現在営業している店舗が今後も継続して営業できるように、また店舗数が増えるよう、商工会などの関係機関と連携していきたいと考えております。いろいろな部分で店舗数が若干増えてきています。千代田町の活性化のためには川邊議員が述べたようにこれから行政も商工会と連携をとりながら、店舗を増やしていきたいと考えております。

二つ目の質問の町内の飲食店を増やす計画についてですが、昨年度の子ども議会で、「ジョイフル本田千代田店の西側の商業用地も含め、飲食店が増えるよう、町のPRを積極的に行っていきたいと思います。」と答弁いたしました。ジョイフル本田千代田店の周辺の商業用地に限られてしまっていますが、「商業施設立地促進奨励金」や「雇用促進奨励金」の制度もありますので、こういった制度の周知を行うなど、引き続き飲食店が増えるようPRして行きます。また、飲食店を増やすことも重要ですが、現在、経営している飲食店に将来にわたって継続的に営業していただくことも、とても重要です。お店を続けたいが、後継者がいないなど、お店によっては様々な事情により、閉店しなければならない状況になることもあるかと思います。そのような状況になる前に、後継者の問題や事業承継・引継ぎ等について、商工会と連携を図りながら、適時、必要な相談や支援を行っていきたいと考えています。

次に、「町内の飲食店の営業時間が短い」との事ですが、お店の営業時間については、地域性や業態によって違いがあるものと認識しております。本町においては、家族経営の店舗がほとんどであり、大手ファミリーレストランのような、人手が確保できるチェーン店もありませんので、人手が限られている中では、現状のような営業時間になってしまうことも、体調のことや体のことも考えると、やむを得ないことと感じております。

また、「地元産の野菜などを販売する直売所を出したらどうか」との事ですが、商売をするということは、利益を追求していかないと継続することができませんので、週1回の売店では経営が難しいと考えております。こちらについては、商工会やJA邑楽館林と調整が必要になりますので、協議・検討していきたいと考えております。

応援しますので、川邊議員も大きくなったら、是非、地元で飲食店をやして下さい。

➤議席番号 9番 3年3組 竹内真帆 議員

千代田町からの交通手段について

私たちは千代田町内なら自転車で移動することができますが、休日町外で遊ぶ時には車で送ってもらえないと移動することができません。ほかの邑楽郡内の地域には駅があります。千代田町には駅はありませんが、バスはあります。でも、本数が少なくなかなか時間が合いません。日曜日には東小地域から館林方面に出るバスがないので、せっかくの休日なのに遊びに行くことができません。このバスの本数の少なさには志望校の選択にも影響します。太田駅や館林駅などにつながるバスの本数を増やしてほしいというのが、私たちの要望です。本数を増やすことで車に乗れない私たちや高齢者などがもっと住みやすい町になっていくと思います。予算などの面もふまえ考えをお聞かせください。

答弁

【町長】

現在、千代田町では、館林方面に「館林・明和・千代田線」、「館林・邑楽・千代田線」、「館林・千代田線」の3路線と、太田方面に「大泉・千代田線(あおぞら)」の1路線を、近隣の市や町と共同して、広域で運行しています。うち、日曜・祝日は、「館林・千代田線」と「大泉・千代田線」の2路線のみの運行となっています。現在のバスの運行については、朝夕便は通学・通勤をする方に合わせた時刻表、昼便は通院や買い物をしや

すいように時刻表を組んでいます。朝夕便などは、通学にバスを利用している高校生でいっぱいでもあります。

要望であります、太田駅や館林駅につながるバスの本数を増やしてほしいとのことですが、他の公共交通がない千代田町にとって、バスの本数を増やすことは有効な手段かもしれません。しかしながら、バスの本数を増やすことは、バスの台数を増やす必要があります、町からの負担を増やすこととなります。参考に、平成 30 年度の広域公共路線バス、4 路線にかかった費用は、約 2,500 万円となっています。また、近隣の市や町と共同で運行していることから、千代田町の意見だけではなく、他の意見も聞いて、運行をしていく必要があります。今後については、利用者の方からのご意見やバスの乗降者数に応じて、路線や時刻表の見直しを行い、より利用者の方が利用しやすいバスの環境整備を行っていきたいと考えています。

竹内議員が述べたように、皆さんの意見を聞き、時間等も合わせながら、何時に出発し、何時に帰ってきたら効率的なのかも含めて、よく検討していきたいと考えています。参考ですが、東地区からは「館林・千代田線」でふれあいタウン、ジョイフル本田前のバス停を利用し館林駅に行くことができますが、運行本数が限られています。そう考えていくと、これからいろいろと調査をした中でこれからも考えていきたいと思います。

再質問

竹内議員：バスの本数を一本増やすのにはどれくらいの費用がかかるのですか。

高橋町長：今現在もバスを運行しているのですが、一本増やすための費用は総務課長がよく知っていますので、総務課長から答弁をさせていただきます。

石橋総務課長：今、東方面に行っている「館林・明和・千代田線」のバスを最近新しくしました。このバス一台当たり 2,000 万円以上します。その費用は館林市と明和町と千代田町で運行距離数によってみんなでお金を出し合います。また運行しているバス会社にも負担してもらいます。バスを一台増やすことによってバス代だけでも 2,000 万円以上、そのほか、運行費用、ガソリン代、運転手の給料など諸々を入れていくと 3,000 万円、4,000 万円という単位になってきます。そのため、増やしたくてもなかなか厳しい部分があります。今後その辺について館林市、明和町、大泉町、邑楽町などと協議して皆さんがより利用しやすいよう、費用の面も含めて考えていきたいと思います。

➤議席番号10番 3年3組 田沼尚歩 議員

新橋の建設と水難事故について

まず1つ目は、かなり前から利根川に新橋を作ると耳にしています。なぜ新しい橋を作るのでしょうか。今、その計画はどのくらい進んでいるのでしょうか。それはどのくらい費用がかかり、どのくらい町民へ負担があるのでしょうか。次に、2つ目の質問です。最近、利根川で溺れる事故がありましたが、千代田町では水難事故についてどのような対策を行っていますか。

答弁

【町長】

まず、利根川新橋を何でつくるのかということですが、現在、埼玉県北部地域と群馬県東毛地域、及び栃木県南部地域を結ぶ橋として、国道 407 号線にかかる刀水橋と、国道 122 号線にかかる昭和橋があります。県道としては、武蔵大橋(利根大堰)がありますが、刀水橋と武蔵大橋(利根大堰)の約 12kmの間に橋がありませんので、周辺における工業団地や住宅団地が増えてきたことから、いずれの橋も慢性的に交通渋滞が起きている状況にあります。また、この地域は、人口が約 84 万人、工業製品出荷高は、約 5 兆 1,690 億円となっており、新橋の建設は、都心に向けた南北の人や物の流れに大きな効果があると考えられます。また、災害時における緊急輸送道路としての大きな役割もあります。JR熊谷駅へも 15 分程度で行けるようになるかと思います。

千代田町では、平成 9 年より毎年、利根川対岸にある熊谷市などの関係する 10 市町とともに、群馬県や埼玉県、国に対し、利根川新橋建設に向けた要望を行っております。また、市民団体の「利根川新橋を架ける市民の会」の皆さんの活動もあり、群馬県の「はばたけ群馬・県土整備プラン」において、「利根川新橋の新設」が、

平成34年度(令和4年度)までの着手予定事業とされたことにより、利根川新橋の建設に向けた動きが一步前進したものと考えております。次に、どのくらいの費用がかかるかとのことですが、新橋の架橋は国と県の事業となり、未発表ではあるものの、総事業費としては、約200億円という規模が予想されています。もちろん千代田町も新橋建設に合わせて、アクセス道路の整備等を行うため、町の負担も出てくるものと思います。千代田町においてはご存知のように駅と国道がありませんので、新橋ができることにより、町の活性化や防災などいろいろな部分の利便性が向上すると考えています。なお、利根川新橋の建設については、多くの予算と期間が必要となるものですので、今後も国を始めとした関係機関への要望を積極的に行っていきたいと思っています。今月も熊谷市の市長さんと国へ要望活動に行ってきます。そのように要望活動を繰り返しながら、いずれは近い将来に実現していきたいと考えています。

二問目の質問ですが、利根川で人が溺れる事故があったとの質問ですが、本町にとりまして『利根川』は、赤岩渡船をはじめとして、川せがきやレガッタ大会など、様々な形で利根川を利用しており、欠かすことのできない河川であります。また、千代田町付近の利根川は、川幅も広くて水深もあるため、赤岩渡船の上流付近では、町内外を問わずジェットスキーなどの水上スポーツを楽しむ多くの方々が賑わいを見せております。しかし、楽しい場所である利根川ですが、楽しみ方を間違えると、危険と隣り合わせの場所でもあります。過日、埼玉県側の利根川で泳いでいた高校生が流され、亡くなるという痛ましい事故が発生してしまいました。基本的に河川の水面、及び河川敷は、自由使用となっておりますが、場所によっては水の流れが速いところや水深がかなり深いところもあり、『遊泳禁止』の場所もあります。そのため、水難事故を防止する観点から、利根川を管理している、国土交通省を事務局に、利根川の水面等を利用している団体が構成員となって、情報交換の場として『利根大堰上流水面利用等協議会』を組織しております。もちろん、千代田町もこの協議会に参加しております。この組織は、平成23年に利根大堰上流の安全で秩序ある快適な利用を目指し、『利根大堰水面利用ルール＆マナー』を策定しました。また、利用者の多いジェットスキーにおいては、PW安全協会という組織を通じて、事故防止のために各ショップ等を通じ、「ルール＆マナー」の啓発を行っていただいています。さらには、安全性の確保として、動力船と非動力船のエリア分けができればと考えております。このように、様々な水難事故防止策を講じていますが、最終的には、利用者ひとり一人がルールとマナーをきちんと守っていただくことが事故防止となりますので、個人の判断と責任で利根川を楽しんでいただきたいと思います。また、来年5月に関東一都六県の水防演習が千代田町で行われます。今日、午前中にも打ち合わせを行ったのですが、それは利根川の河川敷で行われることになっています。それに向けての河川敷の整備をしていただくよう国土交通省にも要望を行っています。来年の5月ですので、田沼議員も友達を誘って、ぜひ見学に来ていただければありがたいなと思います。さらには皆さんもご存知のように8月18日には川せがきという千代田の祭りがあります。川せがきはもともと利根川で水難事故に遭った方の供養が始まりです。川の施餓鬼なのです。川せがきは水難事故に遭った方供養が始まりのお祭りですので、皆さんも花火や夜店、舞台芸能を楽しんでもらいながら、ぜひそのことを忘れずにお祭りを楽しんでいただければと思います。

➤議席番号11番 3年3組 松山力生 議員

ハザードマップの看板について

近年、異常気象が続いており、災害による被害が少ない千代田町でもいつ被害を受けるかわからないような状態にあると思います。防災は早めの対策が必要です。人が集まるような公園やプラザなどにハザードマップの看板を設置することで住民の防災意識が高まり、非常時により安全に非難ができるようになると思います。また今回の台風19号では車での避難の際に死者が多く出ています。それなので、ハザードマップ看板に車が浸水する深さなどを書いていただけるとありがたいです。

答弁

【町長】

非常にタイムリーな質問だと思います。人が集まるような場所にハザードマップの看板を設置することで、住民の意識が高まり、非常時に安全に避難できるようになるのではないかと、このことですがその通りだと思います。

す。

10月12日から13日にかけて、東日本に甚大な被害をおよぼした台風19号では、千代田町でも河川の越水等により、床上浸水等の被害が発生し、多くの方が避難されました。避難の視点から見てみますと、コスメ・ニスト千代田町プラザ等の公共施設のほか、ジョイフル本田さんにも避難所を開設していただき、最大時、7施設で284世帯776人のほか、ジョイフル本田さんの2階駐車場に、500台もの車が避難し、全体で1,800人以上の方が自主避難をされました。町の人口から考えると4人から5人に1人が避難をしたという状況です。さらには広域避難といって千代田町以外に避難した方も含めていきますとっと人数が多いのかと思います。

このことを考えますと、日常からどの場所が、洪水発生時に、最大、どのくらいの水位まで浸水してしまうのかわかると、避難を考える際の参考になると思います。その中で、いたるところに水位を知らせる看板を設置し、みなさんに、利根川の洪水時に最大でどのくらいの水位まで浸水するかをお知らせして、避難の参考にしてもらうことを考えています。これを『まるごとまちごとハザードマップ』と呼びますが、これを千代田町でも設置しようと考えております。内容としては、主として町内の公共施設や公民館・集会所等の主要箇所の付近の電柱に水位を表示した看板を設置し、その施設周辺では、最大でどのくらいの高さまで浸水するのを表示するものです。これを設置することで、その地域周辺の最大水位を日常生活の中で把握し、避難時に役立てていただこうと考えております。参考に、千代田中学校の最大浸水水位は、3.0m未満です。校庭にあるバスケットゴールのネット部分あたりが3.0mです。松山議員が述べたように早めの対応を考えていきたいと思っております。また、町で配布したハザードマップがあるのですが、それをいろいろなところに貼りつけて、皆さんが避難する際の参考にしていただきたいと考えております。

先日の台風のときは千代田町も初めての経験でした。レベル5というのは最高のレベルです。もう逃げてくださいという避難勧告なのです。そういった部分で町職員も27時間寝ずの対応をしました。さらには町民の皆さんも大変な思いをしたと思います。そのような中、よかった点、反省点も踏まえて我々もいろいろなことが参考になりました。これをもとにこれからさらに町民の生命財産を守るために皆さんとともに検討していきながら、いろいろな政策を考えていきたいと考えています。

➤議席番号12番 3年2組 江原綾菜 議員

①人口減少について

まず1つ目の質問です。私は授業で未来都市化計画と新婚世帯応援家賃補助事業があることを知りました。そこで私は千代田町主催の婚活パーティーを提案します。この婚活パーティーでは利根川の利用頻度増加のためにマリンスポーツを体験、また未来都市化計画の目標人口達成のために邑楽郡の独身の人を対象とし、結婚した人、または予定の人に新婚世帯応援家賃補助事業をすすめることで、千代田町の人口を増やすことを目的にしています。そこで、質問ですが、若者の結婚を推進していくためにどのようなお考えをお持ちですか。また目標人口を12,500人と設定していますが、増えているとは思いません。このことに対して、お考えをお聞かせください。

②道路整備について

次に2つ目の質問です。千代田町はジョイフル本田とジャパンミートができてから、たくさんの方が訪れるようになりました。その二つができてから5年以上がたちました。そのせいかジョイフル本田前の大通りの道路が凸凹になってしまいました。車で通るときはあまり影響がありませんが、自転車で渡るときは強く踏み込まなくては進まないほどです。また、自転車がはねるため、カゴの荷物が落ちてしまう可能性があります。実際、自分が通ったときに落ちてしまい、車を止めてしまう事態になってしまいました。それなので道路工事の場所を検討してもらいたいです。

答弁

【町長】

まず一問目の質問について、若者の婚活支援につきましては、ヤングセミナー事業という形で、平成26年度ま

で実施しておりました。ヤングセミナーでは参加者を募り、日帰り旅行や陶芸などの物づくり体験、バーベキューや立食パーティーなど、交際のきっかけづくりとして、様々な企画を催しておりました。しかしながら、参加者は年々減少し、平成27年度から実施を見送っております。近隣市町でも、本町と同様に参加者が集まらなくなっていることから、現在、邑楽郡と館林市、太田市とで婚活支援部会の発足に向けた準備や共催による広域での連携を検討しております。今後は、広域での婚活事業の実施により、若者の婚活支援を推進していきたいと考えております。

また、目標人口12,500人については、平成22年度に策定した、第5次総合計画の中の数値であります。当時、ここまで少子化による人口減少が進むとは想定できませんでした。そのため、平成28年3月に策定した千代田町人口ビジョンにおいて、約20年後の2040年には10,800人、そして約40年後の2060年には9,700人を維持するという目標に改定しました。この人口目標を達成するために、千代田町総合戦略を策定し、基本目標となる「新しい雇用環境の創出」、「定住・移住促進」、「結婚・子育て支援」、「人の交流促進」の4項目を掲げ、現在、町を挙げて、様々な人口減少対策事業に取り組んでいるところです。その一つが「新婚世帯家賃応援補助事業」となります。本町への移住を促進するためには、まずは、千代田町を知っていただくことが大切です。そこで、交流人口の増加を図るために、町内での各種イベント等について、メディアやSNSを通じてPRを行っており、徐々に効果も表れてきていると感じています。人口減少は、全国的な課題ですので、本町としましても最重要課題として積極的に取り組んでいきたいと考えております。先進国の中で人口が減っているのは日本だけです。そう考えていくと国を挙げて人口減少に取り組んでいく必要があると考えております。もちろん私どもの千代田町も県と連携をとりながら人口減少を乗り越えていかなければと考えております。

次に二問目の質問ですが、まず、道路について、お話をさせていただきます。一般的に道路といいましても、様々な種類があります。『道路法』という法律で定められている道路とは、高速自動車国道・一般国道・都道府県道・市町村道に分類されます。また、分類された道路は、その要件によって管理者が異なり、国・都道府県・市町村がそれぞれ管理しております。そのため、本町が管理している道路は市町村道と位置づけられ、町内に全部で900路線、その総延長は26万4,159mにもなります。残念ながら、千代田町には国道がありませんが、県道をはじめとした様々な幹線道路が通っております。そのため、隣接する工業団地や住宅地開発の増加に伴い、通勤、及び帰宅時間帯においては、場所にもよりますが、慢性的な渋滞が発生しております。また、渋滞を避けるために、多くの車両が通学路や農道を抜け道や近道にしている状況であり、大きな交通事故の発生も心配されます。しかし道路は、交通機能としての役割ばかりではなく、物を運ぶという観点から、とても重要な経路でもあります。私たちが住んでいる、群馬県東部の東毛地域は、県内でも工業出荷額が多く、関東地方における物流経済の発展にも大きく貢献しております。先ほど議員が述べられたように加えて、あとで町に場所を言っていれば、担当の荻野課長がそちらにいますので、大至急行って見てきます。自転車に乗っていてかごからものが落ちるということは大変なことになってしまいますので、大至急行って対応を考えます。

再質問

江 原 議 員： 先ほど町長さんがおっしゃったように荻野課長にお願いすれば直してもらえるという話でしたが、もし直せるということになったときにどれくらいの期間があれば修復できるか、目安などがあればお聞かせください。

荻野都市整備課長： 道路補修の期間についてですが、道路の壊れ具合や距離によって、工事費の金額が変わってきます。道路の舗装がはがれて穴が開いているようなところであれば一時的な補修材があるので、小規模な補修であればすぐに都市整備課の直営部隊で対応できます。それ以外で長い距離ずっと道路がぼこぼこになっているという場合には費用的なものがたくさんかかりますので、町当局の財政部門と検討して優先順位を決めながら予算取りに頑張っていきたいと思っております。

5. 子ども議員の感想 ～子ども議会を終えて～



議席番号 1番 阿部竜弥 議員

僕は「子ども議会に出たい」と自分から立候補した訳ではないので最初は嫌だと思っていました。でも実際やってみると、最初は緊張したけれど議会なんてなかなか出られないと考えたら楽しむ事ができました。貴重な体験ができて良かったです。

議席番号 2番 小島大輝 議員

今回は、このような体験をさせていただきありがとうございました。僕は当日とても緊張して何も考えられなかったけれど後で思い返すと、とても良い経験になったと感じました。本当にありがとうございました。

議席番号 3番 坂本 魁 議員

僕は今回の子ども議会を得て、町のために何ができるか、何をしたらいいのか改めて考えました。話し合いをした時も大まかに考えず小さなことに着目しました。また、公務員でも入ることができない所での提案は緊張しましたが、いい経験になりました。千代田町が安心して暮らせる日を待ち望んでいます。本当にありがとうございました。

議席番号 4番 根岸愛花議員

今日行った子ども議会は、普段簡単には使うことのできない場所での討論、考えや質問を町長さんにお聞きすることが出来て、とても良い経験になりました。この経験を忘れず、今後の生活にいかしていきたいと思います。

議席番号 5番 海保翔大 議員

先日は「子ども議会」という貴重な体験をさせていただきありがとうございました。町長さんや教育長さんから直接お答えをいただき、今の千代田町のことについてとても勉強になりました。まだまだ聞き足りないこともあります。今後千代田町がより良い町になるよう願っています。ありがとうございました。

議席番号 6番 川島優奈 議員

普通だったらすることのできない貴重な体験ができて、良かったです。初めての体験で、とても緊張しました。噛んでしまったり、うまく伝えられないこともありましたが、町長さんや教育長さんは真剣に聞き質問に答えてくれました。この体験から私も千代田町をより良くしていく方法や活動を考えていきたいと思いました。今回はこのような貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

議席番号 7番 寺島 涼 議員

僕は、初めての子ども議会で緊張しました。子ども議会の議員として、貴重な体験でした。当選して良かったです。一生に一度経験できるか分からない貴重な体験でした。僕は、クラスの代表6人の中から当選できたことを有難く思っています。これからの人生を作るキッカケにしていきたいと思います。有難うございました。

議席番号 8番 川邊 凜 議員

私は、11月6日の子ども議会に参加しました。心の中では落ちついて、ゆっくり喋ろうと思っていても、自分の番になると緊張が止まりませんでした。でも、めったに体験出来ない事が体験出来て、本当に良かったと思います。

議席番号 9番 竹内真帆 議員

こんな小さな千代田町にもあんな立派な議場があるなんて驚きました。普段できないような貴重な体験ができて良かったです。子ども議会を通して、よりよい町にするためにこんなにも真剣な話し合いが行われているのだと改めて感じました。

議席番号10番 田沼尚歩 議員

先日の子どもの議会は、とても緊張してしまいました。しかし、僕は今日のことが一生の思い出になりました。なので、子ども議会はこれからも続けていくべき重要なことだと思います。千代田町議会の皆様ありがとうございました。

議席番号11番 松山力生 議員

自分は子ども議会という事を体験できてとても良い経験になりました。緊張しましたが、言いたい事は言えたと思うので、良かったです。この経験を今後の生活などにいかしていけたらいいと思います。

議席番号12番 江原綾菜 議員

今回、議長を務めさせていただきました。司会などの経験はありましたが、凄く緊張しました。ですが、議員さん達の優しい雰囲気のおかげでリラックスできました。とても良い経験になりました。本当にありがとうございました！

6. 参考資料(出席者)

町長
副町長
教育長
総務課長
財務課長
住民福祉課長
健康子ども課長
環境下水道課長
経済課長兼農業委員会事務局長
都市整備課長
会計管理者兼会計課長
教育委員会事務局長
議会事務局長
書記
書記

高橋 純一
坂本 道夫
岡田 哲
石橋 俊昭
柿沼 孝明
森 茂人
茂木 久史
栗原 弘明
坂部 三男
荻野 俊行
高田 充之
宗川 正樹
荒井 稔
荒井 美香
久保田 新一

～千代田町議会～

議長
副議長
議員
議員
議員
議員
議員
議員
議員
議員
議員
議員

高橋 祐二
川田 延明
青木 國生
細田 芳雄
柿沼 英己
小林 正明
襟川 仁志
森 雅哉
大谷 純一
橋本 和之
酒卷 広明
大澤 成樹





町の木 モクセイ



町の花 キク

令和元年 千代田町子ども議会 会議録

発行 千代田町議会事務局
〒370-0598 千代田町大字赤岩 1895-1
TEL:0276-86-2111(代表)